

2019 年度第 5 回環境科学部環境フィールドスクール「長崎の大気環境の計測」が行われました。

2019 年度第 5 回環境科学部環境フィールドスクール「長崎の大気環境の計測」が 10 月 19 日（土）に行われました。最初に、島鉄バス小浜ターミナル内にある E キャンレッジ交流センターにて中山准教授による  $PM_{2.5}$  や測器の原理の説明がなされました。その後、島鉄バス小浜ターミナル屋上、雲仙小学校、雲仙ロープウェイの山頂駅など島原半島内の複数箇所にて展開されている大気計測の現場を見学しました。また学生自身が  $PM_{2.5}$  センサを使って実際に計測を体験しました。ローカルな汚染に加えて越境大気汚染の影響を受けやすい長崎・島原半島にて、 $PM_{2.5}$  センサによる計測やデータ収集の様子、新しい測器の設置など、大気環境計測の最前線に立ち会うことができました。



$PM_{2.5}$  濃度計測を見学する（島鉄バスターミナル屋上）



データ収集を見学する（雲仙小学校）



$PM_{2.5}$  センサを使って実際に計測を行う（山頂駅）



新しい測器の設置を見学する（山頂駅）